戦争法案阻止 地方からうねり

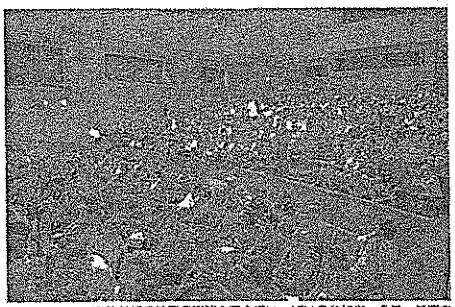
戦争法案の廃案を求める全国の自治体での草の根の運動が緊迫の情勢のもと、かつてない広がりを見せています。参加者は自民党員、現職の村長、消防団長、自治会長、住職など因縁・信条、政党支持を大きく超えており、その運動は「村デモ」、意見広告の新聞折り込みなど、創意あるとりくみになっています。

首相の選挙区で大盛況

山口

安倍晋三首相の選挙区、山口県下関市と長門市で戦争法案を廃案にせよとの声が大きく高まっています。9日夕、自民党支部事務所がある下関市役所前で、約100人が「若者を戦場に送るな」「アベ政治を許さない」と書いた横断幕やプラスターをいっせいに掲げました。しものせき憲法共闘センターがよびかけた「しものせきアクション」。

田川章次弁護士や関野秀明下関市立大学教授、日本キリスト教団下関彦島教会の中島純牧師らがシュプレークで訴えました。飲食店主が「仕込みの最中で参加できないが、頑張ってください」といいにきたり、車から手を振る現役もいました。



安倍首相の地元の演説会で会場いっぱいの参加者＝5日、長門市

「ここへきて、国民の声を無視する憲法違反の戦争法案をしゃにむに押し進めようとする安倍政権への批判が強まり、行動に強みがついてきました」と話すのは現野鉄道センター共同代表。ツイッターやフェイスブックなどSNSでの拡散や、近所にビラを配るよう参加者に呼びかけ、「首相のお膝元のすみずみまで運動を盛り上げる」と意気込みます。

長門市での一点共闘の前進は、首相の祖父岸信介と父晋太郎氏の地盤である参議院補欠選挙（8月）で、安倍晋三氏の対抗馬として出馬した元自衛隊幹部の佐藤正久氏の「憲法9条を大事にしろ」がロ癖だった晋太郎氏の思いをくみつがせることであると感じています。

5日には、長門市仙崎で小林節慶応大学名誉教授を招いて講演会を開催しました。500人の会場に、600人近くが駆けつける大盛況でした。

住職やクリスチャンら多くの人と協力し、講演会成功に尽力した一人、前原寿一さん（73）は「安倍3代の選挙で活動してきた人や、首相の顔も見たくない」とテレビを切る人が次々と会場にやってきました。戦争反対、「反骨の安倍家の伝統を守れ」という地元の思いをさらに広げていきたい」と話しています。

（名越正治）

行動〝史上初〟各地で

長野

「戦争法案を絶対させない。信州からの声大きくし、廃案必ず」と、長野県では「村デモ」や若者のデモ、女性たちのママデモ・レッドアクションなど、〝60年安保闘争以来〟〝歴史上初めて〟の多様なたたかいが県内に広がっています。

県内77自治体のうち、戦争法案反対・廃案などの意見書を可決した議会は、半数を大きく超えています。意見書可決も大きな力となり、9月議会で首長が反対し、廃案を相次いで表明しています。

集会・デモは、多くのところで主催者の予想を超える規模、回数に。池田町では町民の会が軽トラック33台を連ねて役場前から平和パレードをおこないました。保守的とされた坂井民町で元町長が先頭に立ちました。

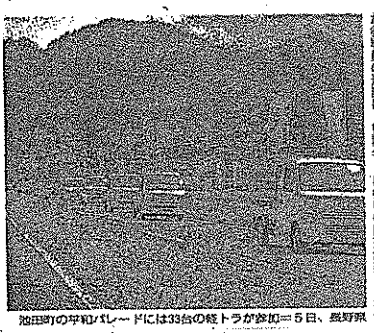
集会では、次世代を担う大学生や高校生も積極的に発言しています。

各界の連帯、共闘が広がり、県弁護士会が廃案を求める声明を発表し、歴代の弁護士会長経験者も声明を出しました。県弁護士会のシンポでは地方議の論議主導が議論しました。

信州大学と長野大学の教員を中心に活動する「信州大学人の会」はシンポを開催しています。シンポの収益金を安保関連補助に使って学生を国会前行動に派遣するなど、熱心な共闘が進展しています。

県教育長・高校長経験者、組合関係者が呼びかけた教育員の運動は、豊岡市が5000人を大きく超えました。

根底には、「加害も被害も、もう二度と戦争はごめんだ」という戦争への怒り、平和の願いがあります。長野県には戦前、国策に従い中国東北部に「満蒙開拓団」と「満蒙開拓青少年義勇軍」を送り出し、全国最多の犠牲者を出しました。子どもは「殺り返さない、送り返さない」のコールも響きます。（小松光太）



池田町の平和パレードには33台の軽トラが参加＝5日、長野県

人口600人 デモ20人

長野県南部

長野県南部の売木（うるぎ）村で10日、村民有志がよびかけて戦争法案廃案を求めるデモ行進が行われました。

「戦争法案の強行は許されない」と、Iターン者や子育て中のママを含む村民12人と近隣町など合わせて20人に膨らみました。インターネットで知った東京の青年も、飛び入りで加わりました。

岡村の人口は約600人です。

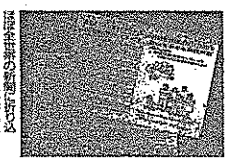
清水亮樹村長が駆けつけてあいさつ。「私は国民が理解できない法案には、とても賛成できない」ときっぱり表明しました。

デモのきっかけとなった商店の女性は「父親は戦争でフィリピンに行って、戦争の恐ろしさをいろいろ話してくれた。海外での戦争には、党派・宗派を超えて反対していくとき」と発言しました。

呼びかけ人の一人、檜山英佐江さん（80）は、「表立ったことがなかなかできないが、よくぞこんなに集まった」と感激を話しました。

保守色強い町で会結成

鳥取



ほぼ全世帯の新聞折り込みで、約500人の家を入れた岩美町の共同声明

鳥取県では、保守色の強い町でも盛上がりが大きな広がりを見せています。

日本海に面した県東部の岩美町（約1万2000人）では「安全保障関連法案に反対する岩美町民の会」の「アピール署名」が人口の1割を超えました。

岡町では太平洋戦争で770人が犠牲になっています。6月に安保法案反対の意見書が否決されたことに危機感を持った保守派を含む無所属3人と日本共産党の合わせて4町議が連名で「町民の会」のよびかけ人を買ってでました。元自民党支部長、元町議、消防団長、自治会長など幅広い35人が応じ7月下旬、会が結成されました。

会では「全国出前講師団」の講演会を招いて学習会も開きました。自民党員や創価学会員も次々と署名に応じています。

よびかけ人の一人、元自民党員で会社役員の岡愛治さん（76）＝会社役員＝は、「元自民党員長官が言うように安保法案は明確な憲法違反です。安倍首相はアメリカに追従し、地球の裏側まで行って戦争しようとしている。断固しかない」と語気を強めます。「現職の自民党員時代に相談しています。個人的に法案の矛盾を感じる人を大勢知っている」とも。

米子市に開催する岡部町（約1万1000人）では、約500人が実名を連ねた「日本を戦争のできる国に変えようとする法案の撤回を求める共同声明」を8月30日、ほぼ全世帯の全国紙と地方紙に折り込みました。

「町民が名前を明らかにして意思表示することが大事。共同声明を出して賛同者を募ろう」と「9条の会」を中心に実行委員会を結成。賛同者を広げ、元自民党会長、保守系も含む10人の現職・元職町議、元自民党県議秘書私設秘書、元老人会長、創価学会、住職らも名を連ねました。

その一人、曹洞宗・仙寿寺の石田俊発住職（76）は「敗戦時は国民学校3年生。『全滅覚悟』に駆り出され効果のない『竹槍』はほとんどない」と語ります。「憲法9条に違反するとされているのに法廷にも強行採決するなんて国民は納得できない、と怒りの声が出ています。賛同者を募ろうと、9条の会を中心に実行委員会を結成。賛同者を広げ、元自民党会長、保守系も含む10人の現職・元職町議、元自民党県議秘書私設秘書、元老人会長、創価学会、住職らも名を連ねました。

その一人、曹洞宗・仙寿寺の石田俊発住職（76）は「敗戦時は国民学校3年生。『全滅覚悟』に駆り出され効果のない『竹槍』はほとんどない」と語ります。「憲法9条に違反するとされているのに法廷にも強行採決するなんて国民は納得できない、と怒りの声が出ています。賛同者を募ろう」と言います。

（内藤真己子）

関西11の青年有志によるデモでスピーチする障害者

瀧川晴日さん（19）

戦争法案に反対し、週1回以上、プラカードを持ち大阪市内の繁華街に立ちます。たった一人でも。変らなかなかさびしい。「通る人と目を合わせるように」心がけます。そうすると、会釈してくれたり、一瞬の交流に力を得ます。

関西11の青年グループが共催する「戦争法案に反対する関西大行動」（9日）で、主催の大阪・御堂筋で、全体集会でスピーチします。「自分の本当の思いとマイノリティ（少数）の視点を語したい」

ぐうりは、障害をもつ当事者や家族、福祉職員、教職員の有志。「人間らしく生きる権利」を求め、行動します。自身は発達障害と、生まれた性への違和感をもち、小中高のほとんど学校に行けませんでした。

「あの頃はいた人は、誰も『変』だからいやな」とは思っていなかった。意思は表さなければ無いのと一緒になってしまう。「感じる目元に、きゅっと力が入ります。

8月30日、国会前を埋めた12万人の一人でした。「あの場にいた人は、誰も『変』がかやらいやな」とは思っていなかった。意思は表さなければ無いのと一緒になってしまう。「感じる目元に、きゅっと力が入ります。

文・写真　前田美咲

9/12 赤旗